




各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

令和7年 1月のHP きごころ通信 (先月の話題)

目次

- (1)  着るエアコン、20度冷却 富士通ゼネラル
- (2)  所有者不明の土地活用へ 国が確認代行
- (3)  鳥と衝突「バードストライク」 国内、昨年は1400件発生

(1) 着るエアコン、20度冷却 富士通ゼネラル

4割軽量化 暖房も

*富士通ゼネラルは、建設業や製造業の現場向けに身に付けて使うウェアラブルエアコンを開発。

*首周りに装着すると、外気温よりも最大20度冷却できます。

*重量は300gで、価格は税抜き6万円。

*外気温が摂氏40度の場合は20度に下げられ、冬は40度前後に温めて使います。

*1回の充電で最大7時間稼働。

*2025年春に販売を始めます。

*世界の労働人口の7割に当たる約24億人が危険な暑さにさらされています。
(2024年12月6日 日本経済新聞記事より抜粋)

(2) 所有者不明の土地活用へ 国が確認代行

工場用地取得 後押し

*政府は事業者にとって土地の所有者やその住所を確認する仕組みを整えます。

*一定の公益性のある事業を対象に数日で権利関係を調べて通知できるようにします。

*「長期相続登記等未了土地解消事業」：法務局が公共事業などを実施する市町村に代わって相続登記が長期間されていない土地の法定相続人を調べる仕組み。

*これを民間の事業でも利用できるように改めます。

*予定地内に所有者不明の土地があると、相続人全ての生存や所在を確認するには一般的に数か月から2年以上を要するといいます。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

*企業が事業計画を立ててから工場の建設、生産開始までより早くできるようにします。

(2024年12月22日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(3) 鳥と衝突「バードストライク」

国内、去年は1400件発生

*航空機が鳥と衝突する「バードストライク」は、離着陸時に起きやすいトラブルの一つ。

*日本国内の空港でも頻発しており、2023年に1499件発生。

*重大なトラブルになるケースはまれ。

*虫などのエサを求めて滑走路近くまで降りてくる鳥との衝突が多いとされます。

*2023年に起きた衝突事案のうち3割弱は着陸滑走中、2割は離陸滑走中。

*滑走路に向けて高度を落とす進入中も2割。

*機体の損傷部位はエンジンやプロペラが3割、先頭部が3割弱、翼が2割、脚は7%。

*大きな事故につながる可能性があるため、各空港では空砲などの大きな音で威嚇して鳥を追い払う「バードパトロール」を実施。

*中部国際空港では、人工知能(AI)が鳥を自動検知する仕組みの導入を進めています。

(2024年12月30日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

